

議会便り 第4号 (1-4) 市内①

平成16年 3月 30日発行
東堂陽一 Tel. 23-3091

大東町、大須賀町との合併まで、あと1年となりました。またたくまに時間が過ぎていく感がします。新聞紙上では、景気が上向き、失業率改善等の文字も頻りに目にする様になりましたが、とても実感できるものではありません。中央と地方の様々な乖離にとまどうところではあります。掛川市では3月議会が開かれ、今後1年間の施政方針・予算をはじめとして、45本の議案審議を行いました。その中から幾つかをとりあげ紹介致します。

I. 平成16年度予算

1) 全会計の予算総額

会計区分	平成16年度	平成15年度	増減額	対前年度伸率	備考
一般会計	28,015,000	30,014,000	△1,999,000	△6.7%	
特別会計	17,712,861	18,285,287	△572,426	△3.1%	9会計
企業会計	13,471,842	13,712,036	△240,194	△1.8%	病院、上水道
合計	59,199,703	62,011,323	△2,811,620	△4.5%	

前年度比6.7%減の緊縮型

理由 ① 不況による市税収の減少

② 三位一体改革による地方交付税、補助金の減少

2) 7つの主要施策(方向性:ハードからソフトへの転換)

① 保健・医療・福祉・介護

市内3番目の学童保育所の建設(第二小)

特別養護老人ホームの計画推進

乳がん検診の充実(マンモグラフィ)

② 教育文化の振興

2学期制の試行(2中学校8小学校)

東中体育館の耐震改築

(仮称)南部・西部幼保園の実施設計

大日本報徳社大講堂修復事業の着手

③ 環境浄化・省資源

環境資源ギャラリーの建設と22世紀の丘公園設計(満水プロジェクト)

浄化槽市町村設置推進事業の導入

④ 農村整備と農の文化のすすめ

掛川高瀬線3期

道の駅の建設(道の駅プロジェクト)

茶の文化シンポジウムの開催

こだわりっばやならここの湯の施設改良

⑤ 都市再生と街なか活性化策

駅前東街区再開発事業の着手(条件付き)(駅前プロジェクト)

緑の精神回廊整備事業

新エコポリスへの企業誘致(満水プロジェクト)

⑥ 都市土木・地震対策

各区画整理地内の保留地販売強化

宮脇区画整理事業推進

市営住宅原谷第2団地建て替え

前川橋歩道橋の架橋

耐震補強工事の高齢者宅への上乗せ補助

⑦ 市制50周年・生涯学習25周年記念事業等

3大プロジェクト(満水、道の駅、駅前プロジェクト)の推進

電算システム統合

年間を通じた各種記念事業(IIで一部紹介します。)

などが16年度の主要施策として予算計上されています。
次に、各種記念事業の一部を紹介します。

II. 50周年記念事業(抜粋)

1) 都市宣言 歩行文化・スローライフ・報徳文化都市宣言

2) 5つのフォーラムの連携開催

3) 3大プロジェクトの着工と構想連携

4) スローエイジング表彰(90歳以上のお年寄りのなかから)

5) 25回実施した市民総代会地区集会の交流控帳地域別編集

6) 自治区別・地域学習センター別の自主企画による記念事業

7) 記念アトラクション

① 記念式展(4月1日)

② 屋台パレード、絵画公募展、薪能、 などなどです。

◆うら面もあります◆

◆前のページの続きです◆

Ⅲ. 1市2町の市町村合併

今年の掛川市の主要課題としては、引き続き合併問題が有ります。どんな街づくりを目指すのか、新都市ビジョン、新市建設計画に注目していく必要があります。3月から4月にかけて住民説明会が開かれますので、ぜひご参加ください。新市建設計画の中の重点プロジェクトとして

- ① 新市融合に向けた南北幹線道路と交通システムの整備
- ② 総合健康センター(仮称)の整備
- ③ 市民活動支援体制と支援基盤となる地域公共施設間ネットワークの拡大

が検討されています。そして、まもなく今年の大きな政治課題として、新市の市長をどうするかということも浮上してきます。

(まめ知識) ユニバーサルデザイン

最近ユニバーサルデザインということばを良く聞きます。ユニバーサルデザインって何でしょうか？その意味は「すべての人のためのデザイン」ということです。障害や年齢、国籍、性別などの違いをこえて、すべての人が暮らしやすいように、まちづくり、ものづくり、環境づくり、などを行っていかうとする考え方です。この紙面もなるべく大きい文字で作るようにしていますが、これも一種のユニバーサルデザインかもしれません。

ユニバーサルデザインの7つの原則

1. 誰かが不利にならないこと …… (公平性)
2. 使ううえで自由度が高いこと …… (自由性・柔軟性)
3. 単純ですぐに使えること …… (単純性)
4. 必要な情報がすぐ理解できること …… (分かりやすさ)
5. うっかりエラーや危険につながらないこと …… (安全性)
6. 無理な姿勢や強い力なしに楽に使えること …… (省体力)
7. 利用しやすい大きさや広さであること (スペースの確保)

心のユニバーサルデザイン

- ・ 段差のあるところで困っている車いすの人を見かけたら、「お手伝いしましょうか。」と一声かけましょう。
- ・ バスや電車で、おじいちゃんやおばあちゃんに席を譲りましょう。

これらが「心のユニバーサルデザイン」の一例です。一人ひとりの思いやりの心、気持ちが、暮らしやすいまちをつくれます。(浜松市都市計画課冊子より)

Ⅳ. 3月議会での私の一般質問(通告要旨)

1. 施政方針、予算について

- (1) 厳しい歳入状況下の予算編成の方向性(ハードからソフトへ)
- (2) 地方の自立・経済の活性化が緊要であるが、どのように考えるか。予算には反映されているか
- (3) 行財政改革は待ったなしであるが、どのように取り組むか

2. 学校教育について

- (1) 2学期制に何を期待するか。検討・準備は充分であったか
- (2) 総合的学習の現況は
- (3) 確かな学力の育成(これまでの目標と実績、これからの目標と対策)
- (4) 個性・特徴を伸ばす教育(これまでの目標と実績、これからの目標と対策)
- (5) 心の教育・道徳教育をどうするか
- (6) 親の教育について
- (7) 小学校の再編について

3. 幼保園再編計画((仮称)西部幼保園)について

- (1) 設計の基本コンセプトは
- (2) 通園手段について
- (3) 車の混雑が心配されるが、駐車場・道路を含めた近隣対策は
- (4) 新園の職員体制と旧園の職員の処遇について

以上が質問の概要です。

本会議での一般質問には幾つかの制約があります。質問時間もそのひとつで、議員に与えられた質問時間は30分です。今回の私の質問は1回目20分、再質問3分の合計23分間でした。一方、当局側の回答時間には制限が無く、今回の回答時間は約60分で、両者を合計すると全部では、およそ1時間半を要しました。

あらかじめ、質問要旨を通告しておきますので、その内容に合った回答が詳しく用意されます。しかし、それでも自分の聞きたいことを引き出すのはなかなか難しいということを実感しています。

Ⅴ. 最後に

現掛川市最後の一年が始まります。新掛川市誕生にむけての準備の一年でもあります。地方自治は大きな転換期をむかえ、試練のときでもあります。より良い街づくりに努力してまいりたいと思います。

議会便り 第4号 (1-4)

桜木①

平成16年 3月 30日発行
東堂陽一 Tel. 23-3091

大東町、大須賀町との合併まで、あと1年となりました。またたくまに時間が過ぎていく感じがします。新聞紙上では、景気が上向き、失業率改善等の文字も頻りに目にする様になりましたが、とても実感できるものではありません。中央と地方の様々な乖離にとまどうところ。そのような中で、掛川市では3月議会が開かれ、今後1年間の施政方針・予算をはじめとして、45本の議案審議を行いました。その中から幾つかをとりあげ紹介致します。

I. 平成16年度予算

1) 全会計の予算総額

会計区分	平成16年度	平成15年度	増減額	対前年度伸率	備考
一般会計	28,015,000	30,014,000	△1,999,000	△6.7%	
特別会計	17,712,861	18,285,287	△572,426	△3.1%	9会計
企業会計	13,471,842	13,712,036	△240,194	△1.8%	病院、上水道
合計	59,199,703	62,011,323	△2,811,620	△4.5%	

前年度比6.7%減の緊縮型

理由 ① 不況による市税収の減少

② 三位一体改革による地方交付税、補助金の減少

2) 7つの主要施策(方向性:ハードからソフトへの転換)

① 保健・医療・福祉・介護

市内3番目の学童保育所の建設(第二小)

特別養護老人ホームの計画推進

乳がん検診の充実(マンモグラフィ)

② 教育文化の振興

2学期制の試行(2中学校8小学校)

東中体育館の耐震改築

(仮称)南部・西部幼保園の実施設計

大日本報徳社大講堂修復事業の着手

③ 環境浄化・省資源

環境資源ギャラリーの建設と22世紀の丘公園設計(満水プロジェクト)

浄化槽市町村設置推進事業の導入

④ 農村整備と農の文化のすすめ

掛川高瀬線3期

道の駅の建設(道の駅プロジェクト)

茶の文化シンポジウムの開催

こだわりっばやならこの湯の施設改良

⑤ 都市再生と街なか活性化策

駅前東街区再開発事業の着手(条件付き)(駅前プロジェクト)

緑の精神回廊整備事業

新エコポリスへの企業誘致(満水プロジェクト)

⑥ 都市土木・地震対策

各区画整理地内の保留地販売強化

宮脇区画整理事業推進

市営住宅原谷第2団地建て替え

前川橋歩道橋の架橋

耐震補強工事の高齢者宅への上乗せ補助

⑦ 市制50周年・生涯学習25周年記念事業等

3大プロジェクト(満水、道の駅、駅前プロジェクト)の推進

電算システム統合

年間を通じた各種記念事業(IIで一部紹介します。)

などが16年度の主要施策として予算計上されています。
次に、各種記念事業の一部を紹介します。

II. 50周年記念事業(抜粋)

1) 都市宣言 歩行文化・スローライフ・報徳文化都市宣言

2) 5つのフォーラムの連携開催

3) 3大プロジェクトの着工と構想連携

4) スローエイジング表彰(90歳以上のお年寄りのなかから)

5) 25回実施した市民総代会地区集会の交流控帳地域別編集

6) 自治区別・地域学習センター別の自主企画による記念事業

7) 記念アトラクション

① 記念式展(4月1日)

② 屋台パレード、絵画公募展、薪能、 などなどです。

◆うら面もあります◆

◆前のページの続きです◆

Ⅲ. 桜木関連の平成16年度予算(一部)

桜木地内で実施される主な事業は次に示すようなものがあります。

- ① 市道桜木中横断線(広域農道北小笠線)調査費
- ② (仮称)西部幼保園設計費
- ③ 桜木小プール改修(トイレ改修含む)
- ④ (仮称)遊家配水池築造
- ⑤ 桜木池整備

ここ数年掛川市の社会資本整備は東部と南部に集中しており、桜木地区も含めて西部、北部地区はやや低調であります。桜木地内には幹線道路も多く、安全性、利便性の両面からの道路整備要望も多いが、思うように前進しません。今後の主要課題です。

(まめ知識) ユニバーサルデザイン

最近ユニバーサルデザインということばを良く聞きます。ユニバーサルデザインって何でしょうか?その意味は「すべての人のためのデザイン」ということです。障害や年齢、国籍、性別などの違いをこえて、すべての人が暮らしやすいように、まちづくり、ものづくり、環境づくり、などを行っていかうとする考え方です。この紙面もなるべく大きい文字で作るようにしていますが、これも一種のユニバーサルデザインかもしれません。

ユニバーサルデザインの7つの原則

1. 誰かが不利にならないこと …………… (公平性)
2. 使ううえで自由度が高いこと …………… (自由性・柔軟性)
3. 単純ですぐに使えること …………… (単純性)
4. 必要な情報がすぐ理解できること …………… (分かりやすさ)
5. うっかりエラーや危険につながらないこと …………… (安全性)
6. 無理な姿勢や強い力なしに楽に使えること …………… (省体力)
7. 利用しやすい大きさや広さであること (スペースの確保)

心のユニバーサルデザイン

- ・ 段差のあるところで困っている車いすの人を見かけたら、「お手伝いしましょうか。」と一声かけましょう。
- ・ バスや電車で、おじいちゃんやおばあちゃんに席を譲りましょう。

これらが「心のユニバーサルデザイン」の一例です。一人ひとりの思いやりの心、気持ちが、暮らしやすいまちをつくれます。(浜松市都市計画課冊子より)

Ⅳ. 3月議会での私の一般質問(通告要旨)

1. 施政方針、予算について

- (1) 厳しい歳入状況下の予算編成の方向性(ハードからソフトへ)
- (2) 地方の自立・経済の活性化が緊要であるが、どのように考えるか。予算には反映されているか
- (3) 行財政改革は待ったなしであるが、どのように取り組むか

2. 学校教育について

- (1) 2学期制に何を期待するか。検討・準備は充分であったか
- (2) 総合的学習の現況は
- (3) 確かな学力の育成(これまでの目標と実績、これからの目標と対策)
- (4) 個性・特徴を伸ばす教育(これまでの目標と実績、これからの目標と対策)
- (5) 心の教育・道徳教育をどうするか
- (6) 親の教育について
- (7) 小学校の再編について

3. 幼保園再編計画((仮称)西部幼保園)について

- (1) 設計の基本コンセプトは
- (2) 通園手段について
- (3) 車の混雑が心配されるが、駐車場・道路を含めた近隣対策は
- (4) 新園の職員体制と旧園の職員の処遇について

以上が質問の概要です。

本会議での一般質問には幾つかの制約があります。質問時間もそのひとつで、議員に与えられた質問時間は30分です。今回の私の質問は1回目20分、再質問3分の合計23分間でした。一方、当局側の回答時間には制限が無く、今回の回答時間は約60分で、両者を合計すると全部では、およそ1時間半を要しました。

あらかじめ、質問要旨を通告しておきますので、その内容に合った回答が詳しく用意されます。しかし、それでも自分の聞きたいことを引き出すのはなかなか難しいということを実感しています。

Ⅴ. 最後に

現掛川市最後の一年が始まります。新掛川市誕生にむけての準備の一年でもあります。地方自治は大きな転換期をむかえ、試練のときでもあります。より良い街づくりに努力してまいりたいと思います。